

令和3年第10回天草市教育委員会定例会会議録

1 期 日 令和3年7月28日（水）午後2時開会

2 場 所 天草市役所 庁議室

3 本会議に出席した教育委員等

委 員	木 下 えり子	委 員	行 合 八恵子
委 員	吉 森 啓 司	委 員	岩 崎 あゆみ
教 育 長	石 井 二三男		

4 本会議に出席した事務局職員

教 育 部 長	長 元 忠	教育総務課長	本 多 俊 隆
学校教育課長	赤 星 潤 一	学校給食課長	堀 口 広 正
生涯学習課長	岡 田 恵	学校教育課審議員	酒 井 成 寿
学校教育課課長補佐	口 脇 大 作	学校教育課教務2係長	宮 口 恵 美
学校給食課管理係長	渡 邊 英 治	教育総務課課長補佐	谷 口 哲 也

5 本会議に付した議題等

(1) 議題

議第26号 臨時代理事項の承認について

議第27号 天草市教育委員会事務専決規程の一部を改正する訓令の制定について

(2) 協議・報告

- ① 令和3年度学校運営協議会委員について
- ② 令和3年度グローバル人材育成事業等について
- ③ 令和3年第4回市議会定例会一般質問の概要について
- ④ 令和3年8月行事予定について

6 会議の概要

(1) 開会

石井教育長： ただ今から、令和3年第10回天草市教育委員会定例会を開会する。

(2) 前回会議録の承認

石井教育長： 前回の会議録であるが、何か意見はないか。なければ承認してよろしいか。

(全員承認する)

(3) 教育長報告

石井教育長： 大きな事故もなく1学期を終えることができたが、全ての児童生徒が元気に2学期を迎えてくれることを願う。県中体連では、団体種目優勝はなかった。オリンピックの感動が続く中でコロナウイルス感染者数の増加が懸念されている。熊本県でも県外移動自粛要請等に取り組むことになるが、学校現場ではこれまで同様に対策を続けていく必要がある。

(4) 議題

議第26号 臨時代理事項の承認について

石井教育長： 本日の議事日程は配布のとおりだが、議第26号臨時代理事項の承認については人事案

件であることから、本件審議は、会議規則第14条第1項に基づき秘密会とすることを発議する。これに賛成の委員の挙手を求める。

(全員賛成)

石井教育長： 全員賛成と認め、議第26号の審議については、同規則による秘密会と決定する。関係者以外の退席を求める。

【議第26号の審議内容は公開していません】

議第27号 天草市教育委員会事務専決規程の一部を改正する訓令の制定について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

本多教育総務課長： 本件は、職員の特別休暇の一部について所属長の決裁とし、事務の簡素化及び効率化を図る改正である。市職員に与えられた特別休暇は20項目あるが、適正取得のために、夏季休暇及び忌引き休暇を除き、いずれも教育総務課長専決としている。新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に伴う職務専念義務免除及び特別休暇を確認する中で、結婚休暇や出産補助休暇等4項目は、最終決裁者を所属課長としても適正取得が担保できるとともに、事務の簡素化・効率化につながるの判断により規程改正を行うものである。なお、裁判員裁判出席休暇等の比較的取得が少ない休暇は教育総務課長決裁として残す。参考になるが、新型コロナウイルスワクチン接種時は職務専念義務免除の規定、また副反応が生じた場合は特別休暇の19号を適用している。

石井教育長： 事務局から説明があった。何か質問等はないか。

： 質問等がなければ、議第27号については承認してよろしいか。

(全員賛成)

(5) 協議・報告

① 令和3年度学校運営協議会委員について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

赤星学校教育課長： 令和3年度学校運営協議会委員について報告する。学校運営協議会は、学校の運営に地域の声を反映し、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるもので、令和2年度に市内小中学校に設置した。本日は、18の学校運営協議会の委員を報告する。残りの協議会の御所浦小学校、御所浦中学校については、次回の教育委員会で報告したい。

行合委員： 協議会設置によるメリットやデメリットなどを把握していれば聞きたい。

酒井学校教育課審議員： 地域とともにある学校づくりの一環として、生涯学習課所管の地域学校協働活動推進員との連携などにより、地域の力を取入れた学校運営が行われている。教師の働き方改革や指導力向上など多面的に役立っているとの声を学校現場からは聞いている。課題としては、年3回開催される会議の頻度等についての意見があっている。

石井教育長： ほかに質問等がなければ、次に進む。

② 令和3年度グローバル人材育成事業等について

赤星学校教育課長： グローバル人材育成事業は、天草市と連携する京都大学大学院の英語を母国語としない留学生の派遣を受け、「天草・イングリッシュ・デイ」として、参加を希望する児童生徒たちと英会話で交流をしたり、いくつかの小中学校に学校訪問をして交流を行っている。コロナ禍で昨年度は中止したが、留学生が入国できない状況が続いており、昨年度同様に中止する方向で大学側と協議中であるので、報告する。

次に、外国語指導助手（ALT）について、報告する。本事業は、市内の小中学校に11人の外国語指導助手を巡回方式で配置し、生きた英語を学ばせる機会を提供する事業である。ALTは毎年7月から8月にかけて入れ替えが行われるが、令和2年度に4人が帰国し、コロナ禍でALTが来日できない状況が続き、本年8月末までに4人が帰国等をするため3人となるところだったが、定例会資料送付後に、9月12日に1人の来日

が決定したので、当面はA L T 4人体制となる。それ以降は、現時点では未定。

吉森委員： 不足する人員は今年度中に充足する目途はあるか。要望はしているか。

赤星学校教育課長： 現在は、昨年度の入国予定者が随時入国する状況。要望は続けているが、現時点で人員不足解消の目途は立っていない。

石井教育長： ほかに質問等がなければ、次に進む。

③ 令和3年第4回市議会定例会一般質問の概要について

本多教育総務課長： 先の定例市議会でも6名から教育委員会関係の一般質問があり、内容は会議資料記載のとおりである。

吉森委員： ヤングケアラーに係る質問があっているが、答弁された調査結果の詳細を聞きたい。

長元教育部長： 国による全体の調査結果は答弁したが、個別の公表はされていない。本市で抽出された対象校は倉岳中であつたが、全体集計による率等が公表されているだけで、地域や学校単位での個別結果は公表されていない。ただし、この調査を受けて、熊本県でも県内ヤングケアラーの状況調査を行うとの県議会知事答弁があつているので、今後、県内の状況把握が見込まれる。

吉森委員： ヤングケアラーはどこの家庭でも可能性がある。答弁にもあつたように、民生委員児童委員など関係各所との連携による状況の把握に努めるよう願う。

長元教育部長： 調査結果書を見ても、子供にとってはケアすることが当然になってしまい、表面化しにくいのが特徴であるとの記載もあつた。兄弟や祖父母等の面倒をみることは当然であつて、本人も課題や負担と思わないケースが多いと。ただ、何かのきっかけで、急に給食を多く食べるようになったとか、ちょっとしたことでの気づきが、学校現場での把握には必要。解決に向かつては福祉分野との連携を進めないと、学校だけで課題解決することは難しいし、根深い問題があることも想定されるとの答弁を行つた。

吉森委員： 子供たちが抱える内容次第では、進路選択にも影響が出てしまい、結果として夢をかなえることができなくなるようであれば、かわいそうだと思つた。

石井教育長： ほかに質問等がなければ、次に進む。

④ 令和3年8月行事予定について

本多教育総務課長： 8月の行事予定を配付している。昨年度実施されなかつた子供会連絡協議会球技大会が予定されている。18日には人権教育研究大会が予定されている。なお、学校閉庁は11日からの3日間実施し、26日には教育委員会定例会を予定するので、日程調整願う。

石井教育長： 質問等がなければ、次に進む。

(6) その他

石井教育長： 次に、その他として事務局等から何かないか。

本多教育総務課長： 4月から7月までに許可した後援・共催の一覧を配付している。併せて、4月に配付した令和2年度の一覧も配布している。2年度は、コロナ禍の関係で多くの事業が中止されたが、3年度は7月までに21件の申請があり、実施事業数も改善の状況があつたので、現時点での状況報告を行う。

石井教育長： ほかに質問等がなければ、その他を終わる。

(7) 閉会

石井教育長： それでは、以上をもって本日の会議を閉会する。大変お疲れさまでした。